

# 環境の都ニュース

2021.1.1 NO.106

“環境の都”を  
めざして

発行

長岡京市環境の都づくり会議

責任者：江川 宗治

編集者：安楽 裕子

楽しいボランティア、  
あなたも如何ですか？

～環境の都長岡京を夢見て～



整備前の竹林



整備後

明けましておめでとうございます。

早いもので、会社勤めを終えて始めた環境保全ボランティア活動も18年目の春を迎えた。京エコロジーセンターの紹介で長岡京市環境の都づくり会議に参加し、メンバーの皆さんの背中を見ながら、ピオトープ作り、竹炭焼き、放置竹林整備、そして市民や子供達の環境意識の向上に繋がる活動を続けてきました。一方、「環境の都」長岡京の実現を目指す当会の取り組みも来年には20周年の節目を迎えます。これまで、大勢の市民の皆様、行政、地元企業、学校、環境諸団体からのお力添えを得て、様々な環境保全・啓蒙活動に取り組んで来る事が出来ました。

しかし、環境問題は息の長い取組みです。また、行政のリーダーシップや市民の力の結束がなければ問題を解決する事は出来ません。ボランティア活動はそのきっかけ作りにすぎませんが、我々はその呼び水の役割を果たすべく努力を続けたいと思っています。

そのため、これからは今まで以上に次代を担う“第二走者づくり”の取組みを加速しなければならないと強く思っています。

美しく、掛け替えのない地球は人間自身の手によって年々その姿を変えつつありますが、この緑豊かな長岡京でも近年山は竹林に侵食され、野生動物は住処や食べ物を奪われ、生態系のバランスは崩れつつあります。手を拱いていると「環境の都」など絵に描いた餅。子供や孫たちが素晴らしい自然との共生の中で健康で、生き生きと暮らせる街にするのは私たち一人ひとりに課せられた責務ではないでしょうか？

ボランティア一人の力は小さくても、地域住民にその輪が広がれば大きな力のうねりになります。一人一人がまず一歩を踏み出し、“やってみる事”が大切ではないでしょうか？ボランティアはお金の出ない“自発的”なものなので、強制されることはありません。自分のペースで楽しめばいいんです。

そして、利害関係のない、普段の社会生活では得られない新しい出会いと人生がそこにはあります。

子や孫の新しい街、「環境の都 長岡京」の実現を夢に見て共にボランティア活動を始めてみませんか？

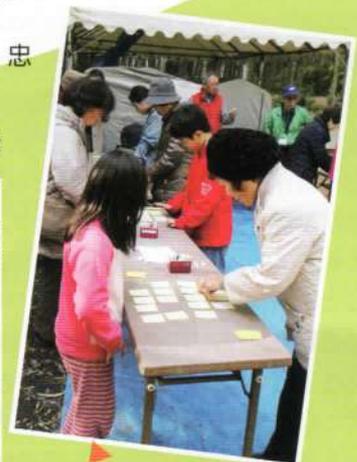
環境の都づくり会議副代表 兼 ピオトープPJTリーダー 神山 忠



「FM おとくに」に出演  
竹の学校の方々と江川代表



長岡京市の環境検定の試験風景



竹林で百人一首

令和3年、明けましておめでとうございます。

昨年も新しく4名の入会があり、そのお蔭で月4回の整備作業も毎回10名前後の参加で、事故なく順調に進められ、嬉しく思っています。PJTもH17年発足後16年目を迎え、これまで12ヶ所の放置竹林延べ8,000坪余りを整備してきました。



それでも作業に終わりは無く、今年も新会員の増員を図りながら地域の自然環境保全に注力していきたいと思っています。また、私たちは竹林整備の他、街を花で彩る活動、正月飾りなど竹製品の提供、小学生のすくすく教室の開催、支援学校などの学校や地域との交流活動、他ボランティアとの交流会等々楽しみながら幅広く活動を行っています。会員一同、また一年頑張ります。今年も良い一年になる事を祈りながら……。



「省エネのヒント」を紹介します。(第3回)

パソコンのかしこい使い方



- ① 低電力モードを活用して、待機時の消費電力を削減しましょう。
- ② 長時間使わないときは電源を切りましょう。(低電力モードでも、電力は消費します)
- ③ パソコンの電源を切るときは、プリンターなどの周辺機器の電源も切りましょう。

ガスコンロのかしこい使い方

- ① 鍋ややかんの底の水分は、ふき取ってから使用しましょう。
- ② 煮物などの下ごしらえは、電子レンジも活用しましょう。
- ③ 鍋の大きさや煮物によって、コンロのバーナーの大きさを上手に使い分けましょう。
- ④ コンロの炎は鍋の底からはみ出さないようにしましょう。炎が鍋底からはみ出すのは危険で、かつエネルギーの浪費です。

私たちが電気やガス、水道を使うとき、多くの二酸化炭素(CO2)を出しています。この二酸化炭素が地球の温暖化を進め、多くの災害の原因になっていると言われています。私たちや、将来、子供や孫が受ける災害を少しでも少なくするために、日常生活の中で、すぐに出来る省エネの工夫やヒントを紹介します。

第3回目は、パソコン、ガスコンロの「かしこい使い方」です。いずれも使用頻度の高い器具で、少し気を付けるだけで節約効果がよくあらわれます。すでにいろいろな省エネに取り組んでおられる方も、もう一度家族で話し合ってください。「次の世代を担う子供や孫のために、楽しくエネルギーの節約をしましょう」

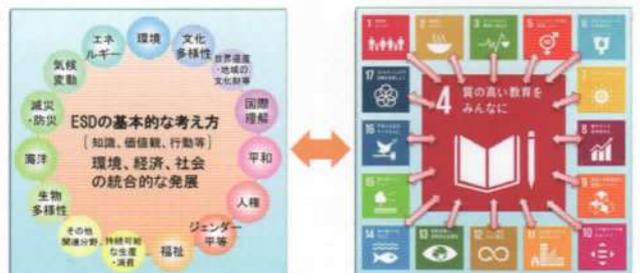
資料提供  
京(みやこ)エコロジーセンター  
エコサポーター 天野光雄様



学校教育におけるSDGs

令和2年度から小学校では、新しい学習指導要領が全面实施されています。さらに、中学校では来年度から実施予定です。学習指導要領とは、全国どの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、文部科学省が小中学校等ごとに、それぞれの教科などの目標や大まかな教育内容を定めているものです。今回改訂された新しい学習指導要領の前文には、「これからの学校には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。」とあり、SDGsに関わる内容が記載されています。実際に小中学校の教科書にもSDGsに関する内容が数多く取り上げられています。学校ではこれまでから、ESD(持続可能な開発のための教育)が既に進められてきており、一人一人が持続可能な社会の構築に必要な考え方を学び、地球規模の課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて自分から行動を起こす力を身につけることを目指し、様々な学習に取り組まれてきています。ESDを推進すること自体が、SDGsの達成に貢献することを踏まえ、SDGsが掲げる17の目標を、ESDの取組にとり入れ、今後のESDの推進に役立てていくことが重要です。このため、学校教育の果たす役割は大きく、今後も各学校において様々な取組が進められていくことを期待しているところです。

文：京都府乙訓教育局 永田健一



出典 「ESD 推進の手引き」(2018年 日本ユネスコ国内委員会発行)

## 自然素材のクリスマスリースづくり

PJTリーダー 加藤克巳



11月21日(土) 西代里山公園で第19回目のクリスマスリースづくりを人数限定で実施、喜んでいただきました。

自然素材は色鮮やかなものが少なく、いくつかの素材は、例えばヒノキ、センダン、カラスウリは2ヶ月ほどで退色しますが、生き物で、一つも同じものがなく、深みがあるので人気です。

茶色の素材(サクラの枝、クヌギの実、マツボックリ、ツバキの実、アメリカフウ)が多いのですが、クリスマスカラーの白(綿の実、ナンキンハゼ)、緑(ヒノキ、センダン、マユミ、プラタナス)、赤(ノイバラ、カラスウリ)を配色します。黒紫色のシャリンバイも加えます。

素材集めは大変ですが、長年やっている所以大家さんが一年中、街路樹、河川敷など、どこに何が生っているかキョロキョロ探しています。マツボックリは近くにはなく、御所や滋賀県に出かけていきます。来年は第20回記念の年になります。



## 水やりの生徒さんと花植えサポーターが対面

PJTサブリーダー 奥西弘武

11月12日(木) 西山公園体育館2F庭園と中央公民館の花壇で秋の植え替えを行いました。体育館は支援学校生徒さんが水やりを続けてくれたおかげで春植えの花壇も植え替えるのが惜しいほどに咲き残っていました。この日は生徒さんが水やりに来る日



でもあり、植付けを体験したあと花苗にたっぷりの水を撒いてくれました。そのあと初対面のエールを交わすと、生徒さんから手作りのプレゼントをいただくやら新聞社からの取材もありのビックリ仰天でした。

(学校側の企画でした) 苗が植わったばかりの花壇はやや空虚なものですが、周りを取り巻く菊のコーナーは見事に咲き揃い、苗の成長や今日の光景を見守り続けながら花壇の主役をバトンタッチしていきます。



## 我が家のアケビ

PJTリーダー 神山 忠



西山を望む今の住まいに移って20年余り。草花の好きな妻が庭に撒いた樹木の種や苗木が今ではすっかり成長し、四季の彩りと楽しみを与えてくれています。中でもその存在感を示しているのは「アケビ」。春の薄紫の可愛い花にはその香りに誘われ番(つがい)のメジロが、秋には甘い実を求めてやんちゃなヒヨドリが窓越しに目を和ませてくれますが、何と言っても有難いのは夏の日差しを遮ってくれるグリーンカーテンとしての存在。私たちが



子供のころは山々のあちこちに見かけたアケビも最近では目にする機会が少なくなりました。熟れた果実を見て一昔前を懐かしそうに語って下さる方に出会うと、私も一瞬過去にタイムスリップして嬉しい気持ちになります・・・「アケビさん、ありがとう!」。グリーンカーテンとしては「ゴーヤー」がポピュラー

ですが、アケビは枯れるまで何年も花も実もつけ、グリーンカーテンの役目も果たしてくれます。

アケビの花言葉は「唯一の恋」だとか。恋人にプレゼントするのー興かと・・・。



〒617-0823 京都府長岡京市長岡1丁目17-15  
TEL. 075-954-6410 FAX. 075-954-3599

保育士募集中です!



未来図は、  
対話のなかにある。

株式会社リヴ

本社 〒617-0002 京都府向日市寺戸町七ノ坪141  
TEL 075-924-0211 FAX 075-924-0212  
長岡京支店 〒617-0814 京都府長岡京市今里西ノ口13-1  
TEL 075-954-0021 FAX 075-954-0020  
ホームページ <https://liv-r.co.jp> mail: info@liv-r.co.jp

# 新春 クロスワードパズル

## たすのカギ

## よこのカギ

### 問題

A~G を並べ変えると  
映画の題名になります。

1A	2		3		4	5
6B			7	8C	D	
			9			
10		11				
12E			13		14	
		15			16	17
18		F				G

- ほろびること。
- 家や部屋からほとんど出ません。
- もうけ。
- とげがあります。
- 2015年COP21が開催された国。
- 障がいのある人が農業分野で働き自立を目指します。
- エビによく似ています。
- 明智光秀は生き延びて家康に仕えたとか？
- ガンジス川のこと。
- たぐい。似たもの仲間。
- 白川郷の家の屋根にも使われています。

- 日本近海の深海にすむ。肉は白身。
- おそれかしてまること。
- かぐや姫のふるさと？
- 身分の高い人々や男子を敬っていう語。
- 何も書いてありません。
- 能などの面。
- 大河ドラマもコロナ禍で大変でした。
- インスピレーションに似ています。
- 脚が10本あります。腕かな？
- 学際的ですが、悲観論と楽観論があります。

作・西村日出男  
※正解は次号(4月1日発行)に掲載

## 世界の環境ニュース

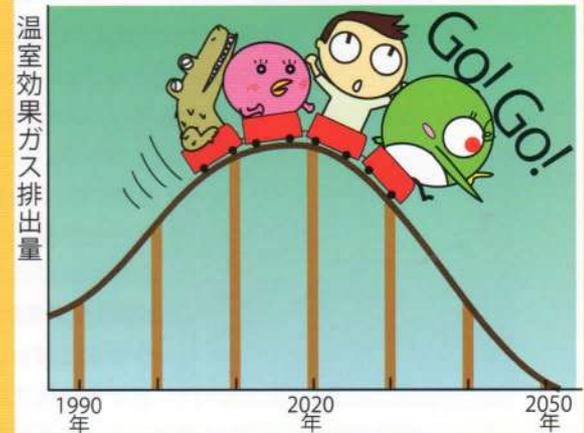
(G20 首脳会議にて)

### 菅首相が「2050年カーボン・ニュートラル」を国際公約

G20 リヤド・サミットが11月21日と22日の2日間、テレビ会議形式で開催され、会合に出席した菅義偉内閣総理大臣は、2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにする「カーボン・ニュートラル」の実現を目指す



決意を改めて表明し、国際公約とした。さらに、温暖化対応は成長につながるという発想の転換が必要であり、革新的なイノベーションを鍵として経済と環境の好循環を創出していくとの考えを強調した。



ミヤコちゃんのエコまんが 作:船越聡

## 2021年環境年間行事日程 直近版(1月~3月)

	共通、広報	里山再生・西山F環境探検隊	ビオトープ	竹林再生	花を咲かそう	エコ(地球温暖化防止等)	こここCOライブ、等
1	環都ニュース発行(1/1) 環都月例会議(1/16) 予定 竹林で百人一首を楽しまう!(1/16)	森林ボランティア(1/17)	竹炭焼き(第2、4木曜) すくすく竹炭焼き(1/16) 予定	竹林整備体験会(第3日曜) 竹林再生活動(第2、4月曜) 河合竹林で初釜(1/11) 予定 3PJT 合同例会(1/15)			SDGs 記事掲載
2	環都月例会議(2/9)	森林ボランティア(2/7) 西山F環境探検隊-4中止 森林ボランティア(2/21)	竹炭焼き(第2、4木曜) すくすく竹炭焼き(2/20) 予定	竹林整備体験会(第1、3日曜) 竹林再生活動(第2、4月曜) 3PJT 合同例会(2/19)		PJT 連絡会議 予定	
3	環都月例会議(3/9)	森林ボランティア(3/7) 里山講演会中止 森林ボランティア(3/21)	竹炭焼き(第2、4木曜)	竹林整備体験会(第1、3日曜) 竹林再生活動(第2、4月曜) 3PJT 合同年次総会(3/ )			

あなたも「長岡京市環境の都づくり会議」に参加してみませんか。どなたでも参加できます。  
問合せは江川まで。Tel. 075-957-6169  
E-mail egawam@kyoto.zaq.ne.jp

「長岡京市環境の都づくり会議」では、さらなる活動の飛躍を期して活動協賛金を募っております。一口年間1,000円(一口以上)

事務所: 多世代交流ふれあいセンター内  
〒617-0812 長岡京市長法寺谷山13-1

ホームページもご覧下さい。  
各PJTの活動内容写真などがあります。



### 編集後記

コロナに引き回された2020年でしたが、新年を迎え、克服の明かりが大きくなって行くよう願っています。世界中の国々・人々が協力し合ってコロナ問題を克服して、平和で平穏な社会の良さを再確認し、「地球は一つ」を共有して前進することを希望します。